

## 枕草子 一時間田

## 清少納言

課題

◎現代語訳を参考にし、(3つ、3つペースト)作者の好きな時間帯と好きなかのや様子を軽簡にしてまとめる。

季節	好きな時間帯	好きなものや様子 (「風情がある」「趣がある」「趣深い」「よこ」)
(例) 明け方		・山ぎわが(少し明るくなつて、紫がかつた雲が細くなびいている)のは風情がある。
春		・( )が出ている時はいつまでもないほどよい。
夏		・蟻が( )のがよい。 ・螢が( )趣がある。
秋		・雨が( )いい。
冬		・鳥が( )ことまでもしみじみとしたものを感じやすい。 ・雁などが( )たいへんおもしろい。 ・日が( )などがするのも、「これもまた、言ひようもないほど趣深い。 ・雪が( )いつまでもないほどよい。 ・霜が( )なのもよご。 ・たいそう寒いときに、( )たいへん似つかわしい。

清少納言は、冬には「好ましくない」ものを最後に書いています。

星になって、寒さがだんだん緩んでいくと、( )になつて、好ましくない。

◎作者はどんなものの見方や扱え方をしてるのか、それ(をどう表現)してらるのかをまとめる。

例えば・・・

作者は、好きな(嫌いな)ものや様子を述べるとき、どんな順序で説明しているかな?

(例)作者は、それぞれの季節の(　?　)述べたあとに、(　?　)述べている。